



週報

クラブテーマ
『思いやりと
協力をもって!』

本日 (1月10日(金)) 新年互礼会

次回 (1月17日(金)) イニシエーションスピーチ

臼井会員、中嶋会員 (予定)

◆ [12月6日(金)] 例会 ◆

会員数 44名 (出席規程免除者 11名)
出席者 36名 欠席者 8名
出席率 85.71% 前回訂正 62.16%→69.77%

◇クラブ報告

- ・RI日本事務局より『財団室 NEWS12月号』が届きました。
- ・井原ロータリークラブより『南海トラフ巨大地震講演会開催のご案内』が届きました。

◇スマイル報告

- ・伊勢崎君・・・年次総会よりよろしくお願い致します。青少年奉仕・高齢者福祉委員会の皆さん、思いやりこども備前焼体験事業ありがとうございました。
- ・小橋君・・・本日の年次総会よりよろしくお願い致します。
- ・山本君・・・ようやく前立腺の治療が終わりました。またボリボリロータリーに出席します。
- ・小松君・・・伊勢崎会長・安良田委員長・池本会員、すばらしい活動、久し振りにロータリーでした。
- ・中嶋君・・・星乃珈琲店岡山津島店 2025年1月29日オープンします。宜しくお願いします。

本日の合計 16,000 円



12月お誕生日 藤村会員



今日のお弁当

備前ロータリークラブ

〒705-0022 備前市東片上 230 TEL/FAX(0869)64-0485

◆ [12月19日(金)] 例会 ◆

会員数 44名(出席規程免除者 11名)

出席者 29名 欠席者 15名

出席率 74.35% 前回訂正 85.71%→86.36%

クリスマス家族納涼例会





会長・幹事新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

新春を迎えてご家族皆様と健やかなお正月をお過ごしになられた事とお慶び申し上げます。

小橋幹事をはじめ、役員理事の皆様、会員の皆様のご支援ご協力により、無事に前期を終えることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。昨年は能登半島地震から始まり、社会経済面での低迷や世界各国で紛争が続いております。今年は被災地の復興が大きく進み、紛争のない平和な世の中になります事を願っています。

さて、本日から後期が始まりました。3月にはいよいよ真庭ロータリークラブと合同でのIM開催となります。備前RCではIMの開催に向けて、前期から長崎実行委員長、中村副実行委員長、そして、谷口IM幹事を中心に委員会を開催し準備を進めて来ました。今後は各委員会の皆様と共にブラッシュアップして行きたいと思っております。引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



会長 伊勢崎 創

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

幹事に就任して半年が過ぎました。皆様方より多くのお力添えを賜りまして心より感謝申し上げます。

本年は現在と過去を鑑み人々が穏やかに、そして幸せな日々を過ごすことが出来る世界になる事を願わずにはられません。

結いに、本年も更なる効果的なクラブ運営の向上に努めて参る所存ですので、より一層のご支援賜れます様寛容の精神の下によりよろしくお願い申し上げます。



幹事 小橋 鉄哉

古希 新年の抱負

自動車会社「ホンダ」の創業者、本田宗一郎さんの名言の中に晩年に語った言葉があります。『実を言うと、社長をやっていた時は金儲けが財産だと思っていたけど、結局は友達こそ本当の財産だなあ』

「ロータリアンは友達である」すなわち我々は大切な財産を世界中に持っている事になります。備前クラブに入会させて頂き多くの良き友人を得て大きな財産を手に入れました。そして私の財産は現在もどんどん増え続けております。



草加 勝康

新年の抱負

明けましておめでとうございます。神戸大震災、熊本地震、東北大震災、能登半島地震に降雨災害等その他、自然災害に見舞われた方々のお見舞いを申し上げます。今年は災害が起きませんようにと、祈るばかりです。

さて、喜寿と言うことでの原稿依頼なのですが、、、恥ずかしながら、私は年を取ったという実感がなく、「今の私はずっと前から変わっていないし変わらない」と思っています。しかし、まあ外見は若い時のようにすらっとはしていませんし、白かったもち肌も多少くすみまして、、、りんごみたいな肌の張りもちょっとカステラ感を持ちあわせるようになりましたので年は取ったのでしょうか。ですが内心はちっとも変わっていません。



岡本 富美子

私の子供の頃は、休日家族と一緒に海での魚釣り、川での鮎の溪流釣り、と父は一流の釣り師でした。この釣りの合間に自然を相手に絵を描くことがうれしくて、いつもスケッチブック片手の家族旅行でした。母が作ってくれるお弁当、旅先での珍しい食べ物をみんなで囲む楽しい日々からずっと成長していないように思われます。

成長できなかった私に、ただ一つだけ成長したような気分に出会ったのが高校時代の「哲学」という教科でした。たしか田中先生と言うひげを生やし、いつも三つ揃いのスーツを着た恰幅の良い優しい男の先生でしたが、話されていることが皆目、チンプンカンプンで分かりませんでした。「これは何だ！何が書いてあるのだ！」何度読んでも意味不明でした。夏休みになると先生から一冊の本を渡されまして、「宿題にこれを読みなさい」と言われました。その本は、内村鑑三「後世への最大遺物」と言う本でしたが、これもまた何度読んでも意味不明のまま、卒業するまで完読できませんでした。又一緒に「デンマーク國の話」と言うのが掲載されていて、これは少し理解できたつもりでいました。内村鑑三が言っていることは、「理想とする生き方を持ちましょう」と言うようなことだったと思いますが、子供心に何か分からなくて、心にとげみたいなものがひっかかっていたことを覚えています。

こんな私でしたが、大人になりながら法学を学び、憲法に触れ、社会問題に触れ、産業廃棄物問題に触れながら、「経済」と言う人が暮らすことの基本である「ものとお金」の関係を教わりました。この時、初めて、内村鑑三がピカッと、頭の中から顔を出し、「後世への最大遺物は事業を興すことにある」という名言の意味が分かりました。しかもこの事業とは「正義を伴わなければいけない」という「希望を託した事業」です。皆さんはもうご存じのことでしょうか、私はずっと後に、「とげ」とは「正義ある後世のための事業興しが、いかにこの世の中で大切であるか」と言うことを、やっとこの年になってわかったような次第です。事業を興すことによって、多くの人が働き、収入を得て、豊かな暮らしを送ることができる、しかもその事業は「正義あるより良い事業であればあるほど、多くの人を幸せにし、継続すればするほど、沢山の人の幸せにすることができる」と言うことだったのです。

ロータリークラブ会員の皆様におかれては、今更ながら「内村鑑三なぞ、知っておるぞ！」と怒られそうですが、私には昨今「正義」や「善」が遠くなったような気が致しまして、、、

私の成長点ともいえる「後世への最大遺物」と「デンマーク國の話」と言う本は、年を取らないための指針であります。今年も、私に与えてくださった時間の中で、少しでも内村先生に近づき、どんな人であれ幸せに暮らせるように、出来る限りそのお手伝いができれば幸いです。

最後に、この世の中から戦争が無くなりますように。そして全世界の皆様の健康と繁栄を祈念いたします。